

2024 Japan Spotlight インサイト レポート

AI/ML (28%)、
AR/VR (24%)、
サイバーセキュリティ (24%)
は、日本で最もトレンド
となっているオープンソース
技術。



回答者の3分の1は、
今後のオープンソース投資
において、技術独占企業
ではなくオープンソース
の代替手段を優先
する予定。



回答者の72%がOSSは
クローズドソフトウェア
よりも安全であると信じて
おり、82%がオープンソース開発
モデルはクローズドアプローチ
よりも優れていると信じている。



回答者の70%がOSSは
自社にとって価値があ
ると回答しているが、これは
世界平均の93%よりも
低い数値。

回答者の76%が、
今年OSSの使用により
ビジネス価値が
増加した
と報告している。



テクノロジーおよび通信業界では、
OSSにより、クラウドとコンテナ
(64%)、AI (48%)、オペレーティング
システム (45%) の開発コストが
削減され、相互運用性
が向上する。

製造業および工業部門は、
特にAI、データ管理、DevOpsの
分野 (それぞれ29%) で、
標準とコラボレーションの
改善を通じてOSSの恩恵を
受けている。



金融および
ビジネス サービスは、
特にサイバーセキュリティ (33%)、
オペレーティングシステム (33%)、
AI (25%) に関しては、
コラボレーションとコスト削減
に重点を置いている。

ヘルスケアにおけるOSSの
使用により、リスクが管理され、コ
ラボレーションが強化される。
特にAI、ブロックチェーン、セキュリ
ティ技術の導入において顕著
(それぞれ31%)。



27%の組織が
オープンソース
プロジェクトに
貢献しているが、
世界平均は42%。



時間の不足 (49%)、プロジェクト
のガイドラインの不明確さ (47%)、
コミュニケーションの障壁 (37%)
が、オープンソースへの貢献に
おけるおもな課題。



オープンソース貢献者は、
プロジェクト関連
サービス (34%)、
雇用主のサポート (32%)、
政府助成金 (24%) から
おもな資金を得ている。

